

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-134402

(P2000-134402A)

(43) 公開日 平成12年5月12日 (2000. 5. 12)

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	テマコード (参考)
H 0 4 N 1/00	1 0 7	H 0 4 N 1/00	1 0 7 Z 5 B 0 8 9
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00	3 5 1 G 5 C 0 6 2
H 0 4 L 12/54		H 0 4 N 1/32	Z 5 C 0 7 5
12/58		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B 5 K 0 3 0
H 0 4 N 1/32			

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-306604

(22) 出願日 平成10年10月28日 (1998. 10. 28)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 池口 佳徳

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 広木 晋也

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

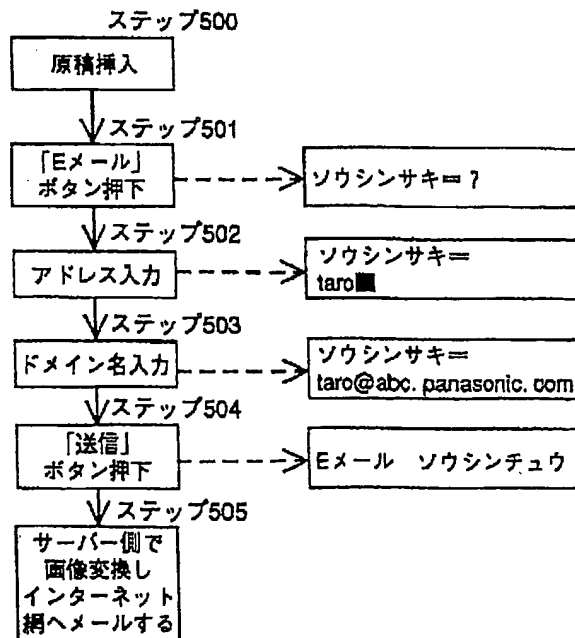
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 インターネット網に接続されたEメールサーバに公衆回線にて接続されたファクシミリ装置において、相手先のEメールアドレスを入力するときに必要なドメイン名を簡単操作で入力可能にする。

【解決手段】 頻繁に使用されると思われるEメールアドレス中のドメイン名 (@より右側の文字列) を入力する手段と、入力されたアドレスをメモリに記憶する手段、また記憶したアドレスを呼び出す手段を備え、使用したときにドメイン名を簡単に呼び出せるようにする。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット網に接続されたEメールサーバに公衆回線にて接続されたファクシミリ装置において、データ等を蓄積するための記憶手段と、Eメール通信であることを指示するためのEメールボタンと、ドメイン名の呼出を指示するためのドメイン名ボタンと、電話回線に接続するための回線制御部と、表示装置とを備え、

使用者が前記Eメールボタンを操作すると、前記表示装置に送信先アドレスを入力するよう促す表示をし、使用者が送信先アドレスを入力した状態で前記ドメイン名ボタンを操作すると前記記憶手段に記憶されていたドメイン名の情報を読み出して表示するように制御する制御手段を備えた事の特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 インターネット網に接続されたEメールサーバに公衆回線にて接続されたファクシミリ装置において、データ等を蓄積するための記憶手段と、情報の入力及び各種操作に使用する入力装置と、Eメール通信であることを指示するためのEメールボタンと、ドメイン名の呼出を指示するためのドメイン名ボタンと、送信を指示するための送信ボタンと、電話回線に接続するための回線制御部と、表示装置とを備え、

使用者が前記Eメールボタンを操作すると、前記表示装置に送信先アドレスを入力するよう促す表示をし、使用者が送信先アドレスを入力した状態で前記ドメイン名ボタンを操作すると前記記憶手段に記憶されていたドメインリストの中からドメイン名の情報を読み出して表示し、使用者が前記送信ボタンを操作することにより原稿トレイに挿入されている原稿を読み取り、公衆回線を介してEメールサーバーへ送信する制御手段を備えた事の特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 インターネット網に接続されたEメールサーバに公衆回線にて接続されたファクシミリ装置において、データ等を蓄積するための記憶手段と、情報の入力及び各種操作に使用する入力装置と、Eメール通信であることを指示するためのEメールボタンと、ドメイン名の呼出を指示するためのドメイン名ボタンと、送信を指示するための送信ボタンと、機能を起動するための機能ボタンと、情報の登録を指示するための登録ボタンと、電話回線に接続するための回線制御部と、表示装置とを備え、

使用者が前記Eメールボタンを操作すると、前記表示装置に送信先アドレスを入力するよう促す表示をし、使用者が送信先アドレスを入力した状態で前記ドメイン名ボタンを操作すると前記記憶手段に記憶されていたドメインリストの中からドメイン名の情報を読み出して表示し、使用者が前記送信ボタンを操作することにより原稿トレイに挿入されている原稿を読み取り公衆回線を介してEメールサーバーへ送信し、前記機能ボタンによって機能登録モードにされた状態で前記Eメールボタンが操

作されるとドメイン登録機能を開始し、前記表示装置にドメイン登録を示す旨を表示し、この状態で使用者から入力されたドメイン名を前記記憶手段に記憶させる制御手段を備えた事の特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はEメールの機能をもつファクシミリ装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 Eメール機能の利便性が評価され、Eメール機能を使用する企業が増えてきている。使用に関して一般的にはパソコンが使用されており、使用するためのプロバイダの設定、DNSの設定、IPアドレスの設定等専門知識が必要であり、パソコンに詳しくない一般ユーザーがEメール機能を利用するのは非常に困難である。また公衆回線に接続されたファクシミリ装置においてはEメール機能を利用することが出来ない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、パソコンに詳しくない一般ユーザーでも簡単にEメール機能が利用できるファクシミリ装置を提供することにある。Eメール機能を利用するには一般的にEメールサーバーへの接続、認証作業、送信する場合は、送信相手のEメールアドレスの入力送信、Eメール本文の入力などEメールを送信・受信するにあたり必要な情報があるが、これらの情報を入力していくのは多くの手間を要する。特に、ファクシミリ装置を使用し送信先のEメールアドレスをその都度入力するには操作が複雑であり、また入力ミスも発生する可能性があった。

【0004】 本発明はEメールアドレスを簡単に入力できるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、頻繁に使用されると思われるEメールアドレス中のドメイン名(@より右側の文字列)をキー操作によりあらかじめ本体のメモリに記憶させ、使用したいときに簡単に呼出ができるように考慮されたファクシミリ装置である。

【0006】

【発明の実施の形態】 本発明の請求項1に記載の発明は、データ等を蓄積するための記憶手段と、Eメール通信であることを指示するためのEメールボタンと、ドメイン名の呼出を指示するためのドメイン名ボタンと、電話回線に接続するための回線制御部と、表示装置と、使用者がEメールボタンを操作すると、表示装置に送信先アドレスを入力するよう促す表示をし、使用者が送信先アドレスを入力した状態でドメイン名ボタンを操作すると記憶手段に記憶されていたドメイン名の情報を読み出して表示するように制御する制御手段を備えたファクシミリ装置であり、このような構成により、使用したいときにドメイン名を簡単に呼び出せるという作用がある。

【0007】(実施の形態1)図1において、101はファクスを制御するためのCPU、102はプログラムが格納されているROM、103はデータ等を蓄積するためのRAM、104はEメールアドレスの入力及び各種操作に使用する入力装置である。105は電話回線に接続するための回線制御部、106は表示装置である。200はEメールサーバである。Eメールサーバ200は公衆回線110で接続されている。

【0008】図2に入力装置104の一例を示す。107はEメール機能を指示するためのEメールボタン、108はドメイン名の呼出を指示するためのドメイン名ボタン、109は送信ボタン、111は各種情報の登録を指示するための登録ボタンである。

【0009】例えば、ある文書を「taro@abc.panasonic.com」にメールするときのフローチャート及び表示画面の例を図3示す。この場合「taro」をユーザー名、「@abc.panasonic.com」をドメイン名という。

【0010】以下図3に沿って説明する。まず使用者はメールしたい文書を原稿トレイに挿入する(ステップ500)。次に図2に示した「Eメール」ボタン107を押下してメール送信を指示する(ステップ501)。表示装置106には「ソウシンサキ=?」と表示される。この状態で使用者は、入力装置104を使用しアドレス「taro」と入力する(ステップ502)。次に図2に示した「ドメイン名」ボタン108を押下すると、RAM103に記憶されていたドメインリストの中からドメイン名の情報を読み出す。

【0011】ここで、あらかじめ使用者によって「taro」に関連づけてドメイン名の登録が為されている場合に、そのドメイン名情報が読み出され、表示装置106に表示される。すなわち表示装置106に「ソウシンサキ=taro@abc.panasonic.com」と表示される。

【0012】次いで使用者は図2に示した「送信」ボタン109を押下しEメールサーバにファクス送信をする(ステップ504)。するとEメールサーバは受信したファクス文書をEメールで扱える画像に画像変換しインターネットへメールとして送信する(ステップ505)。

【0013】Eメール送信用の相手のアドレスのドメイン名(@より右側の文字列)を登録するときのフローチャート及び表示画面の例を図4に示す。以下図4に示したフローチャートに沿って説明する。

【0014】まず使用者は図2に示した「機能」ボタン111を押下して機能設定開始を指示する(ステップ600)。表示装置106には「キノウトウロクモード」と表示される。次に「Eメール」ボタン107を押下して、Eメール関連機能の設定の開始を指示する(ステップ601)。すると表示装置106には「ドメインメイトイロク/[スタート]」と表示される。

【0015】この状態で使用者は入力装置104を使用し、登録したいドメイン名を入力する(ステップ602)。例えば「@fem.dion.co.jp」と入力し、そのドメイン名は表示装置106に表示される。その状態で使用者は図2に示した「登録」ボタン111を押下し登録を指示する(ステップ603)。このようにして登録された複数のドメインは図5に示すようにドメインリストとしてRAM103に格納される。

【0016】以上実施の形態を示したが、入力装置の種類(例えば音声入力)、記憶装置の種類(例えばフラッシュROM)は問わない。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、Eメール送信時に必ず必要なEメールアドレスの入力作業が、簡単にしかも間違いなく入力できるファクシミリ装置が提供できるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態のファクシミリ装置を用いたシステム構成図

【図2】本発明の実施の形態のファクシミリ装置に用いた入力装置例を示す図

【図3】同ファクシミリ装置の操作フローチャート

【図4】同ファクシミリ装置の操作フローチャート

【図5】同ファクシミリ装置にて登録されたドメインリストを示す図

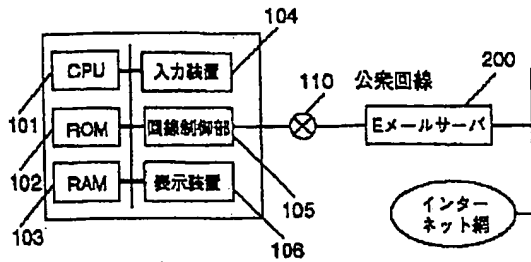
【符号の説明】

101 CPU
102 ROM
103 RAM
104 入力装置
105 回線制御部
106 表示装置
110 公衆回線
200 Eメールサーバ

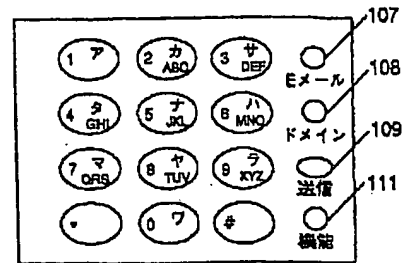
【図5】

@abc.panasonic.com
@fem.dion.co.jp

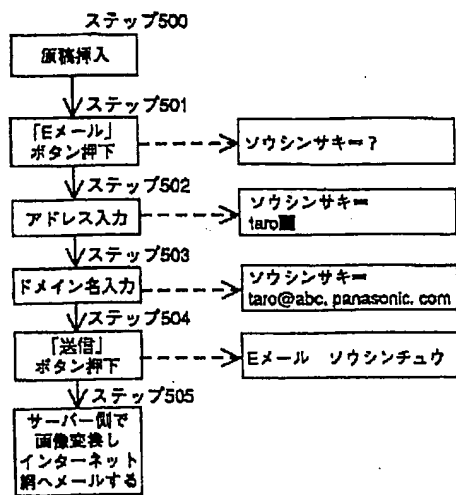
【図1】



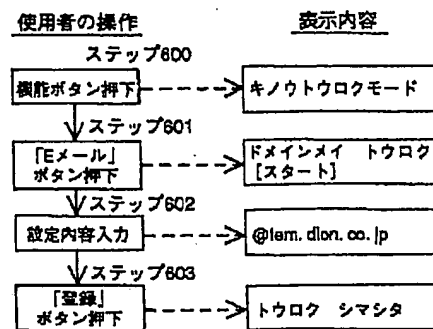
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5B089 GA15 GA26 HA01 JA05 JA31
 KA03 KA05 KB06 KC28 KC34
 LA06 LB04 LB05 LB14
 5C062 AA02 AA06 AB20 AB23 AB38
 AB42 AC22 AF02 BA04 BD09
 5C075 AB90 BA05 CD02 DD07
 5K030 GA17 HA06 HB04 HC01 HC02
 HD09 JT05 KA05 KA06 KA08